

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2010年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会規定に準じて行いが、参加者の年齢段階を考慮し、競技を進行する。
2. 練習及びアップの場所については特に決めていないが、競技場南のグラウンド等、引率者同伴で安全な場所で練習すること。
3. コールについて
コールは行わない。競技開始20分前までに集合の予告放送をするので、10分前までに、集合場所に集まり係員の指示にしたがうこと。
集号場所は、競技場北側ゲート(100mスタート付近後方)入口付近に設置する。
集合場所では胸・腰ナンバーカード、シューズ、衣類など、競技場内への持ち込み物品などの確認を受ける。
招集受付は選手自身がすることを原則とするが、2種目出場して選手自身が招集場所に行けない時は、引率者の代理受付を認める。この場合、必ず競技者係主任に申し出る。
招集に遅れた場合、当該種目を棄権したものと判断し処理する。なお、4×100mリレーの決勝に出場するチームは、大会本部にあるリレーオーダー用紙に記入し、60分前までに大会本部に提出すること。
4. ナンバーカードについて
ナンバーカードは本大会規定のものを使用し、ユニホームに固定する。
トラック競技に出場する競技者(4×100mリレーはアンカーのみ)は、写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で受け取り、右腰のやや後方に外からよく見えるように付け、競技終了後フィニッシュライン付近で係員に返却する。
5. 競技について
その競技に出場している競技者以外は、競技場内(トラック・フィールド)に立ち入ることはできない。
決勝の組み合わせ及びレーン順、試技順は公正に番組編成し、その結果を正面玄関付近の掲示板に掲示する。
トラック競技について
ア) 出発姿勢はクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
イ) 100m走、80mH走、4×100mリレーの各走者は、競技者の安全のため、審判の指示があるまで自分の割り当てられたレーン内にとどまること。
ウ) 4×100mリレーにおけるテイクオーバーゾーン手前からの10mの補助ゾーンは使用してもよい。
エ) スタートブロックは、予選から希望者は使用してもよい。
オ) スタートにおけるフライング失格については、同一人が2回の違反をした場合に失格とする。
カ) 1000m走・800m走は、予選を行わず、タイムレース決勝とする。
フィールド競技について
ア) 走り幅跳びとソフトボール投げは、まず3回の試技を行い、記録の上位8名の選手は、さらに3回の試技を行うことができる。順位決定については、合計6回の試技全ての記録により決定する。
イ) ソフトボール投げは、全国大会のルールに従い、全員3回の試技のみで順位を決定する。
ウ) 走り高跳びの試技は100cmから行う。また、バーの上げかたは、5cmとする。但し、競技者が1人になった場合には、本人の希望の高さで試技を続けることができる。また、1位と6位が複数の時には、2cmの幅の増減により順位を決定する。
ウ) 走り高跳びの跳び方は、はさみ跳びで、マットへの着地は足裏からとし、背中、腰からの着地は無効試技とする。
6. 各種目3位までを表彰する。(学年別・男女別)また、参加者全員に記録証を配布する。
7. 競技用靴は運動靴またはスパイクシューズ(スパイクピンの数は11本以内の平行ピンで、長さ7mm以下)とし、素足は認めない。ただし、1000m走・800m走は、スパイクシューズは認めない。
8. その他
(1) 全記録を知りたい方は、大会事務局(下田 090-6842-1107)へ確認してください。
(2) 医務係は、医務室(エントランス左側の部屋)に待機している。
(3) 大会出場時の応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部に連絡して処置を受ける。応急処置後の保険適用外の責任は負わない。
(4) 貴重品の管理は各自で行う。紛失の責任は負わない。
(5) 参加受付とプログラム販売(1部300円)は、正面玄関付近で行う。
(6) ゴミは各自で責任をもって、持ち帰ること。
(7) 競技場内は全て禁煙です。喫煙は指定した喫煙所をお願いします。